

操作ガイド



■ 印刷用紙・原稿のセット	12
■ コピーモード	22
■ ファクスモード	25
■ その他のモード	39
■ お手入れ	45
■ 困ったときは	50

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

マニュアルの使い方



ザーズガイド (またはネットワークガイド)]

こんなトラブルが発生したら?

印刷できない・印字がおかしい・用紙が詰まった・スキャンできない・ファクスできない・ ネットワークの設定ができない …など

以下のマニュアルをご覧ください。

■本製品のみで使用しているときのトラブル	∠͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡ː 🎝 🎝 🎝 🌆 🖉 🎝 🎝 🌆 🖉 🎝 🖉 🏸 🎝 🖉 🎝 🖉 🌆 🖉 🎝 🖉 🌆 🖉 🎝 🖉 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝 🎝
■パソコンに接続して使用しているときのトラブル	<i>▲</i> 3『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)-「トラブル解決」 ※「印刷のトラブル」・「スキャンのトラブル」・「ファクスの トラブル」から、目的の内容をご確認ください。
■ネットワーク接続に関するトラブル	∠͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡͡ːːːːːːːːː
■付属のソフトウェアに関するトラブル	<i>△</i> ☞『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)-「ドライバー / ソフトウェア」

マークの意味

!重要

【参考】

F

必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不 良の原因になる可能性があります。

補足情報や参考情報を記載しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

もくじ

はじめにお読みください

本製品の主な機能	2
製品使用上のご注意	4
各部の名称と働き	8
操作パネルの使い方	10

印刷用紙・原稿のセット

印刷用紙の種類と設定	
印刷用紙のセット	
原稿のセット	20

コピーモード

コピーをする	
コピー設定の変更	23

ファクスモード

	~ -
ファクスの流れ	25
ファクスの準備	26
ソフトキーの使い方と入力できる文字	28
ファクス送信をする	29
ファクス設定の変更	30
いろいろなファクス送信機能	31
\wedge	

	\			
●短網	縮ダイヤル	・グルー	・プダイキ	ル送信

•	リダイ・	ヤル送信	≣

- 手動送信
- 時刻指定送信
- 順次同報送信

いろいろなファクス受信機能	34
	_
●自動受信	
● 手動受信	
• ポーリング受信	

その他のモード

スキャン	
セットアップ	
給紙装置の設定	

お手入れ

メンテナンスボックスの交換	45
インクカートリッジの交換	47
ノズルチェックとヘッドクリーニング	49

困ったときは

詰まった用紙の取り除き	
トラブル対処	
メッセージが表示されたら	

付録

増設カセットユニット(オプション)の取り付け	60
輸送の準備	61
オートドキュメントフィーダー使用時のご注意	62
製品の仕様とご注意	63
サービス・サポートのご案内	66
操作パネルのメニューー覧	70

索引	巻末
症状別トラブル Q&A	巻末

本製品の主な機能





スキャンして外部機器に保存する 233ページ



スキャンして外部機器に保存

設定をパスワードでロックする 2943ページ



パソコンと接続して使う ∠중 『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)



パソコンから印刷・ファクス送信・スキャン

便利な機能

■ まとめてプリント Lite (Windows のみ)

異なるアプリケーションで作成した複数のドキュメントを1つにまとめ て印刷します。さらに、印刷順序や割り付けなどのレイアウトをページ 単位で調整できます。

イメージを確認しながら調整できるので、思い通りのレイアウトで印刷 できます。



製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品のマニュアルをお読みください。本製品 のマニュアルの内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点を いつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱い を次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをする と、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをする と、人が傷害を負う可能性および財産の損害 の可能性が想定される内容を示しています。
-----	--	-----	---

0	この記号は、必ず行っていただきたい事項 (指示、行為)を示しています。	\bigcirc	この記号は、してはいけない行為(禁止行為) を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの 禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を 示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜 くことを示しています。
	この記号は、特定の場所に触れることの禁止 を示しています。	Ð	この記号は、アース接続して使用することを 示しています。

設置上のご注意



本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。

	⚠注意			
0	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業 してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれが あります。	\bigcirc	不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください 。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあり ます。	
	本製品を移動する際は、水平な状態で移動してく ださい。 傾けたり立てたりすると、スキャナーユニットが 開いて、けがをするおそれがあります。		油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿 気の多い場所に置かないでください 。 感電・火災のおそれがあります。	

静電気

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠警告			
 電源プラグをコンセントから抜くときは、コード を引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてくだ さい。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災の おそれがあります。 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使 用してください。 感電・火災のおそれがあります。 	\bigcirc	AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態 で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント(AC100V)から直接電 源を取ってください。 破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓 口にご相談ください。	
 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。 雷が鳴り出したら、電源コンセントや電話回線に接続されている機器(製品本体、電源コード、電話線)に触れないでください。 感電のおそれがあります。 		また、電源コードを破損させないために、以下の 点を守ってください。 ・電源コードを加工しない ・電源コードに重いものを載せない ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりし ない ・熱器具の近くに配線しない 次のような場所にアース線を接続しないでくだ	
 漏電事故防止のため、接地接続(アース)を行ってください。 アース線(接地線)を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 電源コンセントのアース端子 鋼片などを65cm以上地中に埋めた物 接地工事(D種)を行っている接地端子アース線の取り付け/取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。 		さい。 ・ガス管(引火や爆発の危険があります) ・電話線用アース線および避雷針(落雷時に大量 の電気が流れる可能性があるため危険です) ・水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックに なっているとアースの役目を果たしません) 付属の電源コード以外は使用しないでください。 また、付属の電源コードを他の機器に使用しない でください。 感電・火災のおそれがあります。	



⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意



0	本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグ をコンセントから抜き、すべての配線を外したこ とを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれ があります。 各種ケーブルを取り付ける際は、取り付ける向き や手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてく ださい。	\bigcirc	本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでく ださい。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。 倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあり ます。また、ガラス部分が割れてけがをするおそ れがあります。 電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指 を近付けないでください。 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそ れがあります。用紙は、完全に排紙されてから手		
\oslash	 印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。 詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。 急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。 		に取ってください。 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立て たり、逆さまにしないでください。 インクが漏れるおそれがあります。		

インクカートリッジに関するご注意

い流してください。

インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入っ

• 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗

• 目に入ったときはすぐに水で洗い流してくださ

い。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を

おこすおそれがあります。異常がある場合は、

ロに入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに

てしまったときは以下の処置をしてください。



インクカートリッジを分解しないでください。 分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着す るおそれがあります。

インクカートリッジは強く振らないでください。
 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジ
 からインクが漏れるおそれがあります。

│ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所 │ に保管してください。

取り扱い上のご注意

インクカートリッジは常温で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。

速やかに医師にご相談ください。

医師に相談してください。

- 良好な印刷品質を得るために、装着後は6ヵ月以内に 使い切ることをお勧めします。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移したとき
 は、4時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色 セットしないと印刷できません。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故 障の原因になります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置しないでください。プリントヘッド(ノズル)が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジはICチップでインク残量などカートリッジ固有の情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。
- 使用途中で取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にイン クが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インク が完全になくなる前に動作を停止するように設計されて おり、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが 残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えない でください。カートリッジからインクが漏れることがあ ります。

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

• 回収

使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地 球環境保全のため回収にご協力ください。 23 裏表紙「インクカートリッジの回収」

● 廃棄

ー般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず 法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してくだ さい。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処 理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄 してください。

インク消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外に もヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作でインク が消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷でも、用紙種類や印刷品 質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で 印刷します。
- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル(インクの吐出孔)の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

各部の名称と働き



11 排紙トレイ

印刷された用紙を保持します。3段すべて引き出して お使いください。 トレイ先端のストッパーで用紙の飛び出しを防ぎます。







12 原稿カバー

スキャン時に外部の光をさえぎります。

13 原稿台

原稿をセットします。 ∠3~20ページ「原稿のセット」



14 USB コネクター

USB ケーブルを接続します。

- 15 モジュラーケーブル接続コネクター
 - LINE:電話回線を接続します。 EXT.:外付電話機を接続します。
- 16 LAN ケーブル用コネクター LAN ケーブルを接続します。
- 17
 メンテナンスボックス

 廃インクをためる容器です。
- [18] 背面ユニット 詰まった用紙を取り除くときに取り外します。
- 19 電源コネクター

電源コードを接続します。

操作パネルの使い方

操作パネルの名称と働き



画面上のガイド

各画面で操作できるボタンを、アイコンを使ったガイドで表示します。 ガイドの意味を覚えておくと、ガイドを見ながら操作を進めることができます。



画面のメニュー構成は 70 ページ 「操作パネルのメニュー一覧」をご覧ください。

印刷用紙の種類と設定

使用できる用紙

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。セット可能枚数を超えてセットしないでください。 以下は 2011 年 5 月現在の情報です。

エプソン製専用紙(純正品)

			セ	ット可能枚数	*1	
	用紙名称	対応サイズ	背面 MP トレイ	用紙 カセット 1	用紙 カセット2	印刷できる面
	写真用紙クリスピア<高光沢>	L 判・KG サイズ・ 2L 判・六切・A4	20 枚	_	_	
写真用紙	写真用紙<光沢>	L 判・KG サイズ・ 2L 判・ハイビジョン サイズ・六切・A4	20枚* ²	_	_	より光沢のある面
	写真用紙エントリー<光沢>	L 判・KG サイズ・ 2L 判・A4	20 枚	_	_	
	写真用紙<絹目調>	L 判 · 2L 判 · A4	20 枚	_	—	
光沢紙	フォト光沢紙	A4	1枚	-	_	より光沢のある面
—————————————————————————————————————	スーパーファイン紙	A4	80 枚	-	_	
マツト和	フォトマット紙	A4	20 枚	_	_	より口い画
普通紙	両面上質普通紙<再生紙>*3	A4	50 枚*4	200 枚	200 枚	両面
ハガキ	スーパーファイン専用八ガキ	ハガキ	30 枚	_	_	両面*5
バラエティー 用紙	スーパーファイン専用ラベル シート	A4	1枚	_	_	白い面

*1:セット枚数を超えてセットしないでください。

*2:印刷結果がこすれたりムラになったりするときは1枚ずつセットしてください。

*3:エプソン製の、古紙100%配合の再生紙です。

*4:手動両面印刷時は20枚までです。

* 5:手動両面のみ (Mac OS X は非対応)。

市販の用紙

			t	zット可能枚数 [*]	•1	
	用紙名称	対応サイズ	背面 MP トレイ	用紙 カセット 1	用紙 カセット2	印刷できる面
普通紙	コピー用紙・事務用普通紙	A4 · B5 · Letter *2	エッジガイド の上限まで*3 ママーク下の 線を超えない	エッジガイドの)上限まで	より光沢のある面
		A5 * ^{2 *4}	80枚* ³	エッジガイド の上限まで	_	
		A6 *2 *4	80 枚* ³	-	_	
		Legal *2 *4	1枚	エッジガイドの)上限まで	
		ユーザー定義サイズ ^{*2}	1枚	-	_	
厚紙	厚紙	A6・B5・A5・A4・ Legal・ユーザー定義 サイズ ^{*2}	10枚*5	_	_	
	郵便八ガキ	ハガキ	30 枚	—	—	
ハガキ*6*7	郵便八ガキ (インクジェット紙)	八ガキ	30枚	_	_	両面*4
	往復八ガキ*2	往復八ガキ	15枚	_	_	
		長形3号·4号	10枚	_	_	両面*4
封筒	封筒*2	洋形 1 号·2 号·3 号· 4 号	10枚	-	_	宛名面のみ
		角形2号·20号	1枚	_	_	両面*4

*1:セット枚数を超えてセットしないでください。

*2:パソコンからの印刷時のみ対応です。

*3:手動両面印刷時は30枚までです。

* 4:手動両面のみ (Mac OS X は非対応)。

* 5:手動両面印刷時は 5 枚までです。

* 6: 郵便事業株式会社製。

*7:郵便ハガキ<写真用>は対応していません。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



用紙の取り扱い

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙は必要な枚数だけを取り出し、残りは用紙のパッケージに入れて保管してください。本製品にセットしたまま放置する と、反りや品質低下の原因になります。
- 用紙を複数枚セットするときは、右図のようによくさばいて紙粉を落とし、整え てからセットしてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしない でください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。



ハガキサイズの用紙に両面印刷するときは、印刷した面が乾くまで放置してください。反りを修正し、平らにしてから反面に印刷してください。ハガキは宛名面から印刷することをお勧めします。

[用紙種類]の設定

最適な印刷結果を得るために、印刷用紙に適した[用紙種類]を設定してください。

	田延夕社	[用紙種類]の設定		
	田和石竹	コピー	パソコンから印刷	
	写真用紙クリスピア<高光沢>	EPSON クリスピア	EPSON 写真用紙クリスピア	
写真用紙 写真用紙 写真用紙 写真用紙 写真用紙 写真用紙		写真用紙	EPSON 写真用紙	
	写真用紙エントリー<光沢>	写真用紙エントリー	EPSON 写真用紙エントリー	
光沢紙	フォト光沢紙	フォト光沢紙	EPSON フォト光沢紙	
	フォトマット紙	フォトマット紙	EPSON フォトマット紙	
	スーパーファイン紙	Х	EPSON スーパーファイン紙	
普通紙	両面上質普通紙<再生紙> コピー用紙・事務用普通紙	普通紙	普通紙	
	郵便八ガキ*1	×	宛名面:郵便八ガキ 通信面:郵便八ガキ	
	(往復八ガキ*1	Х	郵便八ガキ	
八ガキ ^{*2}	郵便八ガキ(インクジェット紙)*1	×	宛名面:郵便八ガキ 通信面:郵便八ガキ (インクジェット紙)	
	スーパーファイン専用八ガキ	×	宛名面:郵便八ガキ 通信面:EPSON スーパーファイン紙	
バラエティー用紙	スーパーファイン専用ラベルシート	X	EPSON スーパーファイン紙	
封筒	封筒	Х	封筒*3	

×:非対応です。

* 1:郵便事業株式会社製。

*2:郵便ハガキ<写真用>には対応していません。

*3:角形2号・角形20号・長形3号・4号封筒は、Windowsパソコンからの印刷のみに対応しています(Mac OS X は非対応)。

印刷用紙のセット

用紙力セットへのセット





用紙カセットの使い方

- 用紙カセット1には、A4·B5·A5·Letter·Legal サイズの普通紙がセットできます。
- 用紙カセット2(オプション)には、A4・B5・Letter・Legal サイズの普通紙がセットできます。
- 用紙力セット1・2(オプション)とも印刷用紙のセット方法は同じです。
- 用紙カセット1と2(オプション)に同じサイズの用紙をセットすると、用紙カセット1の用紙がなくなったときに、自動的に用紙カセット2(オプション)から給紙します。
- 用紙カセット1と2(オプション)を入れ替えてセットすることはできません。



コピーをするときは 22 ページ「コピーをする」をご覧ください。 🌗

背面 MP トレイへのセット

背面 MP トレイには、対応しているすべての用紙がセットできます。







コピーをするときは 22 ページ「コピーをする」をご覧ください。

原稿のセット

原稿台へのセット





コピーをするときは 22 ページ「コピーをする」をご覧ください。 🌗



コピー濃度・用紙サイズ・用紙種類・印刷品質・倍率などを設定してコピーします。 コピーの前に、以下の作業が終了していることを確認してください。

- ●印刷用紙のセット △〒16ページ
- 排紙トレイの引き出し 2717 ページ
- ・給紙装置の用紙サイズ設定 ∠〒44 ページ
- 原稿のセット 2720 ページ





モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

コピー設定の変更

22ページ「コピーをする」の手順3 「設定の確認・ 変更」では、右記の設定が変更できます。なお、組 み合わせによっては表示されない項目があります。



[片面→片面] 片面の原稿を片面コピーします。 [片面→両面] 2枚の片面原稿を両面コピーします。 XXXX資料 [両面→片面] 両面の原稿を片面コピーします。 XXXX資料 [両面→両面] 両面の原稿を両面コピーします。 部単位でコピー 部数ごと分けてコピーします。 [しない]・[する] レイアウト コピーのレイアウトを選択します。 [標準コピー] 周囲に約3mmの余白あり(フチあり)でコピー します。 - 余白あり [A4 原稿を2アップ]・[B5 原稿を2アップ] 2枚の原稿(A4·B5 サイズ)を1枚の用紙にコピー します。原稿サイズによって選択できる用紙サイズ が異なります。 *二次会のお知らせ* 二次会のお知らせ ъ́ つづく・・・ 🖬

両面コピーの設定をします。

倍率

コピー倍率を選択します。

[任意倍率]

【▲】か【▼】ボタンまたはテンキーで、任意の倍 率に変更します。

【▲】か【▼】ボタンを長めに押すと、10%刻み で設定できます。

[等倍]

100%の倍率でコピーします。

[オートフィット]

原点からの余白を含めて原稿の文字や画像のある 部分をスキャンし、そのデータを用紙サイズに合わ せて拡大 / 縮小してコピーします。



[L 判→ A4] ・[B5 → A4] など

A 判、B 判、ハガキなどの定形用紙に合わせた倍率 で拡大 / 縮小してコピーします。

用紙サイズ

使用する印刷用紙のサイズを選択します。

[A4] · [B5] · [L 判] · [2L 判] · [KG サイズ] · [六切]

用紙種類

印刷品質

コピーの印刷品質を選択します。

[標準品質]・[きれい]

[きれい] では、品質優先でコピーするため、印刷 速度が遅くなります。

原稿の向き

原稿の向きを選択します。

[縦]・[横]

原稿とじ位置

原稿のとじ位置を選択します。

[左]・[上]

印刷とじ位置

印刷結果のとじ位置を選択します。

[左]・[上]

ファクスの流れ

ファクスの準備

ソフトウェアのインストール時にファクス設定をした方は、本作業が終了しています。29 ページ「ファクス 送信をする」に進んでください。

インストール時にファクス設定をしなかった方、または設定内容を変更したい方は、以下の作業を行ってく ださい。

なお、本製品をパソコンと接続して使うときは『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) - 「ファクス」をご 覧ください。



[呼び出し回数]・[回線種別]・[自局設定]を設定します。

2 受信設定をする 2334 ページ「いろいろなファクス受信機能」

受信方法を設定します。ファクスのご使用が多い方は自動受信をお勧めします。【自動受信】ボタン を押すと自動受信モード(自動受信ランプ点灯)になります。

以上で準備は終了です。



ファクスの接続状態を確認するときは、以下のページをご覧ください。 ∠3738ページ「ファクス機能診断」

ファクスを送信する

宛先を入力してファクスを送信する ∠3~29ページ「ファクス送信をする」

便利な機能を使う

電話番号を登録する ∠す36ページ「短縮ダイヤル登録」	時刻を指定して送信する ∠☞32ページ「時刻指定送信」	
	複数の宛先に同時送信する	
短縮タイヤル・クループタイヤルの一覧を確認する ∠3-38ページ「レポート印刷」	□ <u> </u>	
丘縮ダイヤル・グループダイヤルで送信する 日本 「 日本 「 日本 「 日本 「 日本 日本	情報サービスを使って受信する △〒35 ページ「ポーリング受信」	
	送信結果の一覧表を確認する・受信文書を再印字する	
最後に送信した宛先にもう一度送信する ∠3~31 ページ「リダイヤル送信」	<i>☎</i> 38ページ「レポート印刷」	

ファクスの準備

ソフトウェアのインストール時にファクス設定を行 わなかったときや、各設定を変更するときは、操作 パネルで以下の設定をしてください。



【▲】か【▼】ボタンで呼び出し回数を設定して、 【OK】ボタンで決定します。



テンキー(数字キー)でも入力できます。

回線種別

5

ファクス通信するための回線を設定します。 回線種別は、初回の送信時のみ自動で設定されます。自動 で設定されないときや、電話回線を変更したときに手動で 変更してください。



前項「呼び出し回数」の手順4の画面で、「回線 種別を選択します。





□ 7° ">>1

OK 終了

2

回線種別を選択します。 回線種別

□ 夕 イヤル(10PPS) ■ タ"イヤル(20PPS)



(参考)

• 各設定の詳細は、以下のページをご覧ください。 ▲ 3 42 ページ 「回線種別」

3 戻る

 使用している回線種別がわからないときは、「プッ シュ]→[ダイヤル(10PPS)]→[ダイヤル(20PPS)] の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試して みてください。

以上で、操作は終了です。



名前または番号を入力します。

<自局名>

6

ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧くだ さい。

∠328ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」



<自局番号>



参考

自局名で 40 文字、自局番号で 20 文字まで入力でき ます。 入力できる文字種は、以下のページをご覧ください。 ∠3 28 ページ「入力できる文字」

以上で、操作は終了です。

ソフトキーの使い方と入力できる文字

短縮ダイヤルやグループダイヤルの登録などで文字や記号を入力するときには、入力のための専用画面(ソフト キーの画面)が表示されます。設定する項目によって表示される画面は異なりますが、ネットワーク設定でも同 様の操作で入力できます。

ソフトキーの使い方

ソフトキーの画面は「入力部」と「ソフトキー」に分かれています。 「入力部」のカーソル移動および入力操作は、「ソフトキー」と操作パネルの【OK】ボタンで行います。 「ソフトキー」のカーソル移動および操作は、操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】【OK】ボタンで行います。



ソフトキーのカーソル移動
 操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで移動します。

 入力部への文字入力 操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで選択して、【OK】ボタンを 押します。

- ・入力文字の切り替え
 ソフトキー画面右上の [№12]・[№12]・[№1]・[№3]・[№3] キーのいずれかを選択して、【OK】ボタンで決定します。
 △3 本ページ 「入力できる文字」
- ・入力部のカーソル移動
 ソフトキーの 【■】または 【■】を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
- ・文字の削除
 ソフトキーの [▲] を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押すと、左側に向かって1文字ずつ削除されます。
- スペースの入力

ソフトキーの [201] を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

入力の終了
 ソフトキーの「町町 を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

入力できる文字

操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでソフトキー画面右上の [MB12] ・ [mb



文字入力は、操作パネルのテンキー(数字キー)でもできます。



画質・両面設定・濃度などのファクス設定をして送信します。 ファクス送信の前に、原稿がセットされていることを確認してください。 原稿のセット ∠〒20 ページ

- (参考)

- 設定を変更前の状態に戻すときは、【ストップ / 設定クリア】ボタンを押します。
- 番号入力中に【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押すと、宛先に「−」が入り、約3秒間の間隔(ポーズ)を設定します。
- 番号などの入力中に【◀】ボタンを押すと1文字戻って消去し、【▶】ボタンを押すとスペースが入ります。
- •ファクス送信を中止するときは【ストップ/設定クリア】ボタンを押します。
- •ファクス送信後、相手先番号が話し中などでつながらないときは、自動で2回、1分おきにリダイヤルします。



この後は、画面の指示に従って操作してください。



29ページ「ファクス送信をする」の手順3 「設定

の確認・変更」では、右記の設定が変更できます。なお、 組み合わせによっては表示されない項目があります。

ファクス設定の変更



オレフシのハーは続きがあることを示しています。



2

【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】 ボタンで設定値を表示させます。





【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択して、【OK】 ボタンで決定します。



5 【メニュー】ボタンを押して、設定メニューを 閉じます。

送信設定

画質

ファクス送信時の画質を設定します。

[ドラフト]・[標準]・[きれい]

文字と写真が混在した原稿では、[きれい]を選択 することをお勧めします。

ファクス設定の変更

ただし、原稿の内容や画質によって、ファクス送信 にかかる時間が異なります。

濃度

ファクス送信時の濃度を-4~+4の間で設定します。

両面設定

ADFから送信するモノクロ原稿が両面(オン)か 片面(オフ)かを選択します。 カラー送信や原稿台からの送信は片面(オフ)を選 択してください。

[オフ]・[オン]

短縮ダイヤル登録

▲ 36ページ 「短縮ダイヤル登録」

グループダイヤル設定

_37ページ「グループダイヤル設定」

時刻指定送信

_중32ページ「時刻指定送信」

順次同報送信

∠〒32ページ「順次同報送信」

ポーリング受信

△735ページ「ポーリング受信」

レポート印刷

LF38ページ 「レポート印刷」

ファクスモード

いろいろなファクス送信機能

短縮ダイヤル・グループダイヤル送信

短縮ダイヤルを登録しておくと、宛先番号の入力が簡略化 できます。また、短縮ダイヤルをグループにして登録して おくと、一度の操作で複数の宛先が指定できます。



リダイヤル送信

最後に送信した宛先に、もう一度送信できます。 最後にグループダイヤル送信したときは、グループの最後 にある宛先のみが送信できます。

∠ 20ページ 「原稿のセット」

【ファクス】ボタンを押します。

【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押します。



送信設定を変更するときは、【メニュー】ボタ ンを押します。

∠ 30ページ「ファクス設定の変更」

モノクロまたはカラーの【スタート】ボタン を押します。

ファクス送信が開始されます。

以上で、操作は終了です。



32



6

[順次同報送信]を選択します。



宛先番号を設定します。

「直接ダイヤル」・「短縮ダイヤル」・「グループダイ ヤル」の項目を組み合わせた設定もできます。 各設定画面への切り替えは、【メニュー】ボタンで 行います。

<直接ダイヤル>

複数の宛先を入力するときは、以下の①~③を繰り 返します。



[√]を外すときは、【◀】か【▶】ボタンをもう一度 押してください。

<グループダイヤル> 【メニュー】ボタンを2回押します。





[√]を外すときは、【◀】か【▶】ボタンをもう一度 押してください。



₹■ 直接ダイヤル

「直接ダイヤル」・「短縮ダイヤル」・「グループ ダイヤル」を組み合わせて設定するときは、そ れぞれの操作を続けて行い、宛先をすべて設定 してから手順 7 に進みます。 例えば、「短縮ダイヤル」と「グループダイヤル」 を組み合わせて設定する際の手順は以下です。 ① 上記<短縮ダイヤル>の操作で宛先を選択 する。 ②【OK】ボタンを押さずに【メニュー】ボタ

- ンを押す。 ③<グループダイヤル>の操作で宛先を選択 する。
- ④ 手順 7 に進む。

宛先をすべて設定したら、【OK】ボタンを押 します。



以上で、操作は終了です。

いろいろなファクス受信機能

ファクスを受信する方法は以下の3通りと、パソコ ンで受信する方法があります。詳細は『ユーザーズ ガイド』(電子マニュアル) - 「ファクス」 - 「ファ クス受信の基本 | をご覧ください。 ファクスの受信に備えて、常に普通紙をセットして おくことをお勧めします。また、ファクス印刷に使 用する給紙装置を設定できます。 ∠ 44 ページ「給紙装置の設定」

動受信

ファクス利用が多い方にお勧めです。 ただし、写真印刷・パソコン印刷などをするときは、普通 紙以外の用紙(写真用紙など)に印刷されることがありま す。この場合は手動受信をお勧めします。

【自動受信】ボタンを押して、自動受信モードにします。





自動受信ランプが点灯します。

この後、ファクス信号を検出すると、設定されている回数 の呼び出し音が鳴りファクスが受信されます。受信終了後、 ファクスデータが印刷されます。

!重要

本製品に留守番電話機を接続して留守番電話機能を有 効にしているとき、本製品が自動受信するまでの呼び 出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設 定してください。少なく設定すると、先に本製品がファ クス受信の応答を始めてしまうため、留守番電話機へ の録音や通常通話ができません。 呼び出し回数の設定方法は、以下のページをご覧くだ さい。 26ページ「呼び出し回数」

(参考)

- 留守番電話の応答中にファクス信号を検出したとき は、自動的にファクス受信に切り替わります。
- 外付電話機が未接続で、操作パネルの [音の設定] がオフになっていると、着信音は鳴りません。 ▲ タージ 「プリンターの基本設定|
- 着信中に外付電話機の受話器を上げてファクス信号 (「ポー」音)が聞こえたときは、受話器を置かずに そのままお待ちください。自動的にファクス受信に 切り替わります。ファクス信号が聞こえなくなり「接 続中です。」という画面が表示されたら、受話器を 置いてください。
- プリンターのエラー時(インクカートリッジの交換) が必要なときや用紙が詰まって印刷できないとき) に受信したデータは、メモリーに記録されます。 エラーを解除するとデータの印刷ができます。 △338ページ [レポート印刷]

以上で、操作は終了です。

手動受信

ファクスよりもコピー・パソコン印刷・電話などの使用が 多いときは、一旦電話に出て相手がファクスかどうかを確 認してから受信する手動受信をお勧めします。 手動受信には外付電話機が必要です。

(参考)

留守番電話応対中はファクス信号が検出できません。 不在時のファクス受信は、必ず自動受信モードに切り 替えてください。

切り替え方法

自動受信ランプが点灯しているときは、【自動受信】ボタ ンを押して、自動受信モードを解除してください。

受信方法



外付電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器 を上げます。

通常の電話の場合はこのまま通話してください。


以上で、操作は終了です。

ファクスモード

その他のファクス機能



イヤルの編集と削除ができます。



ファクスモード





ファクス機能診断レポートが印刷されます。



以上で、操作は終了です。

レポート印刷

ファクス送受信のレポートや短縮(グループ)ダイヤルリ ストが印刷できます。また、一度印刷したファクスデータ の再印刷ができます。 蓄積された受信ファクスデータが本製品のメモリーをオー バーすると、古い順から削除されます。 削除されたファクスデータは再印刷できません。

【ファクス】ボタンを押します。

J

2

3

【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー] 画面を表示させます。





Utt-hfn副 ■ 通信管理レポート ■ 通信結果レポート ■ 短縮ダ* イヤルリスト ■ グ*ルフ*タ* イヤルリスト ■ 受信文書再印刷 OK ▼

項目	内容
通信管理レポート	[印刷する]・[表示する] 送受信結果の一覧を印刷・表示し ます。
通信結果レポート	最後にファクス送信またはポーリン グ受信した通信結果を印刷します。
短縮ダイヤルリスト	短縮ダイヤルの一覧を印刷します。
グループダイヤル リスト	グループダイヤルの一覧を印刷し ます。
受信文書再印刷	今までに受信したすべてのファクス のうち、本製品のメモリーに蓄積さ れているファクスデータを日付の新 しい順から印刷します。
プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な 通信レポートを印刷します。



モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

印刷が開始されます。

以上で、操作は終了です。

スキャン

スキャンして外部機器に保存

写真や雑誌などの印刷物をスキャンしてデータ化し、 HDDやUSBフラッシュメモリーなどに保存します。



- 2 原稿をセットして、【スキャン】ボタンを押し ます。
- 3

4

[スキャンして外部機器に保存]を選択します。

スキャン設定を確認して、必要に応じて変更 します。

組み合わせによっては表示されない項目があります。

設定	内容
保存形式	[JPEG] · [PDF]
原稿の両面設定	[片面]·[両面]* ¹
スキャン範囲	[A4]
	選択した用紙サイズでスキャン
	[自動キリトリ] *2
	文字や画像のある部分のみスキャン
	[最大範囲] * ²
	原稿台の範囲をすべてスキャン
原稿タイプ	[文字]·[写真] *2
解像度	[200dpi] · [300dpi] · [600dpi]
濃度	± 4
原稿の向き	[縦]・[横]
原稿とじ位置	[左]・[上]

- * 1: [両面] を選択したら原稿は ADF にセットしてく ださい。
- * 2:原稿を ADF にセットしたときは、選択してもスキャンできません。

5 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタン を押します。

スキャンが開始されます。



参考

スキャン後のファイル容量は、原稿サイズやスキャン 設定によって異なります。

以上で、操作は終了です。

スキャンしてパソコンへ

書類や雑誌などの印刷物をスキャンしてデータ化し、パソ コンに保存します。

スキャンメニューの [スキャンしてパソコンへ (PDF)] · [スキャンしてパソコンへ (Eメール)] も同様の手順で行 えます。

そ考
 この機能を使うには、本製品とパソコンを接続して、
 付属のソフトウェアをインストールする必要がありま
 す。詳細は『準備ガイド』をご覧ください。

1 原稿をセットし、【スキャン】ボタンを押して、 スキャンメニューを選択します。

両面原稿は ADF にセットしてください。

- 2 パソコンを選択します。
 - ■両面原稿のスキャンや、スキャン範囲の変更をする ときは、【メニュー】ボタンを押して [スキャン設定] で設定してください。
- 3 カラーの【スタート】ボタンを押します。 フォッンが問題サキャキオ
 - スキャンが開始されます。
 この後は、パソコンの画面で操作します。詳細は
 『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) 「スキャン」 「プリンター操作パネルのスキャン機能」を
 ご覧ください。

以上で、操作は終了です。

セットアップ

セットアップモードでは、プリンターの動作や操作 パネルの表示・ネットワーク設定など各種設定を変 更できます。



【セットアップ】ボタンを押します。







オレフシのハーは続きがあることを示しています。



【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】 ボタンで決定します。



参考

 ● 手順 2 で選択したメニューによって、操作 が異なります。

画面の説明に従って操作してください。

 セットアップモードを終了するときは、他の モード(コピー・スキャン・ファクス)ボタ ンを押してください。

インク残量の表示

インク残量(表示は目安)を確認します。 インクが少なくなると「!」マークが表示されます。 しばらくは印刷できますが、早めに新しいインク カートリッジを用意することをお勧めします。



インク残量が限界値以下になったインクカート リッジには、「×」マークが表示されます。

プリンターのお手入れ

プリントヘッドのノズルチェック

▲ 3 49 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

プリントヘッドのクリーニング

▲ 3 49 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

プリントヘッドのギャップ調整

プリントヘッドのギャップ調整をします。 印刷結果がぼやけているときや、文字や罫線がガタ ガタになるときなどにお試しください。

- 用紙カセット1にA4サイズの普通紙をセット してください。
- 改善されないときはパソコンに接続して、プリン タードライバーからのギャップ調整をお試しくだ さい。
 - 「ユーザーズガイド』(電子マニュアル) 「メ ンテナンス」-「印刷のずれ(ギャップ)調整」

プリンターの基本設定

給紙装置の用紙サイズ設定

用紙カセットや背面 MP トレイごとに用紙サイズを選択します。

こすれ軽減

印刷結果がこすれて汚れているときに設定します。

[しない]・[する]

[する] に設定すると、印刷速度が遅くなることが あります。印刷こすれが発生したときのみお使いく ださい。電源を切ると [しない] に戻ります。

両面・乾燥時間

両面コピー時の乾燥時間を選択します。

[標準]・[長い]・[より長い]

印刷結果にこすれが発生するときは[長い]・[より 長い]を選択してください。

音の設定

パネルの操作音やファクスの着信音を設定します。

[オン]・[オフ]

日付 / 時刻設定

日時や時刻を設定します。

[年.月.日]・[月.日.年]・[日.月.年]
 [12h]・[24h]
 △ア『準備ガイド』 - 「日時の設定」

言語選択 /Language

操作パネルに表示される言語を選択します。 [日本語]・[English]

用紙サイズのチェック

給紙する用紙サイズが設定と合っていないとき、エ ラーを案内します。

[エラーを案内しない]・[エラーを案内する]

ネットワーク設定

- ネットワークに関する設定をします。
- 操作パネルの設定中に電源を切ったり電源プラグ を抜いたりしないでください。本製品が正常に動 作しなくなるおそれがあります。
- 設定値の入力はソフトキーで行います。ソフト キーの使い方は、以下のページをご覧ください。
 28ページ「ソフトキーの使い方と入力でき る文字」

ネットワーク基本設定

ネットワーク接続に必要なプリンター名・TCP/IP の設定をします。

ネットワーク接続診断

ネットワークの接続状態を診断します。 また、診断結果を印刷すると、詳細な情報が確認で きます。印刷した診断結果の見方は以下をご覧くだ さい。

▲デ「ネットワークガイド」(電子マニュアル) - 「設定/印刷で困ったときは」 - 「ネットワーク接続診断のエラー」

ネットワーク情報確認

ネットワークの設定と接続状態が確認できます。 ステータスシートを印刷すると、詳細な情報が確認 できます。

ファイル共有設定

接続しているパソコンから外部記憶装置のファイ ルにアクセスするときのモードを設定します。 優先にした接続形態からの読み書きは可能ですが、 他方は読み取りのみになります。

USB 接続優先

USB 接続したパソコンから、外部記憶装置への読み書きが可能です。

ネットワーク接続優先

ネットワーク接続したパソコンから、外部記憶装置 への読み書きが可能です。



ファクス設定

送信設定

[画質]・[濃度]・[両面設定] ⊿30ページ「送信設定」

[結果レポート] 通信結果レポートの印刷条件を設定します。 [エラー時のみ]・[する]・[しない] [する]を選択すると、送信後毎回レポートが印刷 されます。

受信設定

[ファクス給紙装置設定]

給紙する用紙力セットを選択します。 [用紙カセット 1]:使用する・使用しない

[用紙カセット2]:使用する・使用しない [背面 MP トレイ]:使用する・使用しない 用紙カセット1・2、背面 MP トレイに異なるサイ ズの普通紙をセットし、すべて[使用する]を選択 すると、受信データに合った用紙サイズから給紙し ます。

[自動縮小印刷]

受信データのサイズが用紙サイズより長いときに、 縮小印刷するかしないかを設定します。 ただし、データによっては縮小されないことがあり ます。

[する]・[しない]

[ファクス出力設定] 受信したデータの出力先を確認します。

[印刷] · [保存]

初期値は [印刷] です。[保存] (パソコンに受信) はパソコンから Fax Utility で設定します。 詳細は『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) – 「ファクス」 – 「ファクス受信の基本」のヘルプを ご覧ください。

回線設定

[エラー訂正 (ECM)]

回線トラブルなどを自動的に修復する ECM 機能を 有効にするかしないかを設定します。

[する]・[しない]

[通信開始速度]

通信開始の速度を設定します。 [33,600bps]・[14,400bps] 通信エラーが頻繁に起きるときや、海外または IP 電話環境で通信するときは、[14,400bps] に設 定することをお勧めします。

[呼び出し回数]

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し 回数を1~15の間で設定します(初期値5)。 ただし、回数を多くし過ぎると、送信側の設定に よっては受信できないことがあります。 2926ページ「呼び出し回数」

[ダイヤルトーン検出] ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始する かどうかを設定します。

[する] · [しない]

[する] に設定すると、早く確実にダイヤルできます。 接続環境によってダイヤルできないときは、[しな い] に設定してください。

ただし、環境によっては番号の最初が抜けるなど 誤った番号に接続されてしまう可能性があります。

[回線種別]

電話回線の回線種別を設定します。 ∠ 26ページ「回線種別」

[プッシュ]

プッシュ回線(電話機のダイヤルボタンを押したときに「ピッポッパ」という音がするタイプの回線)をお使いのときに選択してください。

[ダイヤル (10PPS)]・[ダイヤル (20PPS)] ダイヤル回線(電話機のダイヤルボタンを押したと きに「カタカタカタ」または「ジージージー」とい う音がするタイプの回線)をお使いのときに選択し てください。

[自局設定] 2727ページ [自局設定]

ファクス機能診断

∠〒38ページ「ファクス機能診断」

本体ステータスシートの印刷

ステータスシートを印刷すると、現在のプリンター の状態や設定値が確認できます。

設定をパスワードでロック

管理者以外は設定値の変更ができないように設定 します。 設定項目を変更したいときは、パスワードを入力し ます。ロックされたすべての項目を一括で解除す るには、[購入時の設定に戻す]の[すべての設定] を選択します。 [ロックする]・[ロックを解除する]・[パスワード

を変更する]

ロックされる項目は以下の通りです。

[セットアップ] モードの [プリンターの基本設定]・ [ネットワーク設定]・[ファイル共有設定]・[ファ クス設定]・[設定をパスワードでロック]・[購入時 の設定に戻す]

▲ 28ページ「ソフトキーの使い方と入力できる 文字」

購入時の設定に戻す

ファクス通信設定

ファクスの送信・受信・回線の設定を購入時の状態 に戻します。

ファクス登録データのクリア

ファクス短縮ダイヤル・グループダイヤル・自局設 定を購入時の状態に戻します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定を購入時の設定に戻します。

ネットワークとファクス設定以外

ネットワークとファクス以外の設定を購入時の状態に戻します。

すべての設定

すべての設定を購入時の設定に戻します。

ファクス給紙装置設定

設定します。

受信したファクスを印刷するときに、使用する給紙装置を

٨

T

 $(\mathbf{1})$

(î

-

V

.

٨

給紙装置の設定

給紙装置の用紙サイズ設定

給紙装置の用紙カセット1・2(オプション)や背面 MP トレイに用紙をセットしたら、給紙装置ごとに用紙サイズ を設定します。



メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時 に排出される廃インクをためる容器です。いっぱい になると、ボックスを交換するまで印刷できません (インクあふれ防止のため)。

メンテナンスボックス交換のメッセージが表示され たら、以下の手順に従ってください。

メンテナンスボックス型番:PXBMB2

⚠注意

インクが皮膚についてしまったり、目に入ったりした ときは、すぐに水で洗い流してください。

!重要

- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックス は、再使用しないでください。内部のインクが固化 し、インクを吸収できません。
- 印刷中はメンテナンスボックスを交換しないでくだ さい。廃インクが漏れることがあります。
- メンテナンスボックスの緑色の基板に触らないでく ださい。正常な動作・印刷ができなくなるおそれが あります。



メンテナンスボックスの空き容量がなくなると、印刷 はできませんが、ファクスの送信や外部機器にデータ を保存するなどの操作はできます。

以下の画面が表示されたら画面の指示に従い、「印刷 を中止して後で交換〕を選択して、【OK】ボタンを押 してください。



新しいメンテナンスボックスを箱から取り出 します。

- 背面ユニットを取り外します。 2
 - 背面ユニットの左右のボタンを押して取り外して ください。







3

使用済みメンテナンスボックスを透明袋に入 れて密封します。



!重要

お手入

中のインクが漏れない ように必ずジッパーを 閉じる

L.C.

メンテナンスボックスは密封するまで傾けない でください。インクが漏れることがあります。

(参考) 使用済みのメンテナンスボックス回収について は、以下のページをご覧ください。 ∠ 家裏表紙「メンテナンスボックスの回収」

つづく・・・



インクカートリッジの交換

交換のメッセージが表示されたら、以下の手順に従っ てください。

メッセージが表示される前に交換を行うときは、手 順3から作業してください。

▲注意 交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。 ④7ページ「インクカートリッジに関するご注意」

!重要

操作部分(イラストのグレーで示した部分)以外には 手を触れないでください。

参考

- コピー中に交換すると、原稿の位置がずれる可能性があります。【ストップ/設定クリア】ボタンを押してコピーを中止し、残りのコピーを原稿のセットからやり直してください。
- 大量に印刷するときは、インク残量を確認して、予備のインクカートリッジを用意してください。印刷途中でインクが切れたときは、そのインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。

インク残量は、【セットアップ】ボタンを押して [イ ンク残量の表示] を選択すると確認できます。

交換が必要なインクカートリッジを確認して、 【OK】ボタンを押します。



交換が必要なインクカート
 リッジのみを表示

●面にはエプソンの純正インクカートリッジ型番が表示されます。純正品のご使用をお勧めします。△ 豪裏表紙「インクカートリッジのご案内」

[すぐに交換する] を選択して、【OK】ボタン を押します。

2





3前面カバーを開けます。





交換するインクカートリッジを押します。 「カチッ」と音がしてカートリッジが少し飛び出し ます。







取り外したインクカートリッジはインク供給孔 部にインクが付いていることがありますので、 周囲を汚さないようにご注意ください。







インクカートリッジを水平方向に5秒間(15 回程度)振ります。





新しいインクカートリッジをセットします。

ださい。





前面カバーを閉じます。



以上で、操作は終了です。

[ヘッドクリーニング]を選択します。

画面の説明に従ってヘッドクリーニングを実行し

ノズルチェックとヘッドクリーニング

3

てください。

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷さ れたりするときは、ノズル(インクの吐出孔)の状 態を確認してください。また写真を印刷する前にも、 ノズルチェックすることをお勧めします。



詰まった用紙の取り除き

<u>∧</u>注意

製品内部に手を入れて用紙を取り出すときは、操作パネルのボタンには触らないでください。また、突起などでけがをしないように注意してください。

!重要

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。
- 操作部分(イラストのグレーで示した部分)以外には触らないでください。特に、内部の半透明の部品に触れると動作 不良につながるおそれがあります。

画面の指示に従い、用紙が詰まっている(紙片がちぎれて残っている)箇所を確認して取り除いてください。 電源を切る指示が表示されたら、電源を切ってください。





背面ユニットを取り付ける

プリンター内部



前面カバーを開ける



用紙を引き抜く



前面カバーを閉じる

用紙カセット部

用紙力セットを引き抜く手順は用紙力セット1・2(オプション)とも同様です。



用紙カセットを引き抜く



用紙を引き抜く



用紙力セットをセットする

オートドキュメントフィーダー部



ADF カバーを開ける



用紙を引き抜く



ADF を起こす



用紙を引き抜く



ADF を倒す



原稿カバーを開ける



用紙を引き抜く

トラブル対処

電源・操作パネル

症状・トラブル状態	対処方法
電源が入らない 電源ランプが点滅・点灯しない	 【電源】ボタンを長めに押してください。 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	【電源】ボタンを長めに押してください。それでも電源が切れないときは、電 源プラグをコンセントから抜いてください。その後、プリントヘッドの乾燥 を防ぐため、電源を入れ直して【電源】ボタンを押して電源を切ってください。
液晶ディスプレイが暗くなった	液晶ディスプレイがスリープモードになっています。いずれかのボタンを押 すと、操作画面が表示されます。

給紙・排紙

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった	無理やり引き抜かないでください。以下のページの手順に従って取り除いて ください。 _3 50 ページ「詰まった用紙の取り除き」
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう	 用紙カセット1・2 (オプション) または、背面 MP トレイにセットした 用紙のサイズと、操作パネルの [給紙装置の用紙サイズ設定] を合わせて ください。 タイ4ページ「給紙装置の用紙サイズ設定」 用紙を正しくセットしてください。特に、用紙のセット時には必ずエッジ ガイドを合わせてください。 タ16ページ「印刷用紙のセット」 本製品で印刷できる用紙をお使いください。 タ12ページ「印刷用紙の種類と設定」 水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してくだ さい。 タ63ページ「総合仕様」-「動作時の環境」 製品内部のローラーが汚れている可能性があります。A4 サイズの普通紙 を使ってローラーをクリーニングしてください。 タ55ページ「用紙が汚れる」-「内部のクリーニング方法」 印刷処理が一定の時間中断された可能性があります。印刷処理が一定の時間中断されると、印刷中の用紙が排出されます。 オブションの増設カセットユニットを取り付けているときは、「セットアッ ブ」-「本体ステータスシートの印刷」でステータスシートを印刷して、 用紙カセット 2 が表示されているかを確認してください。表示されていな いときは、取り付け直してください。 上記の作業を行っても改善しないときは、エプソンインフォメーションセ ンターへお問い合わせください。 タ68ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
ADF から原稿が給紙されない	ADF 内部が汚れている可能性があります。 ∠3~62 ページ「オートドキュメントフィーダーの清掃」

印刷品質

症状・トラブル状態	対処方法
	 ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドの状態を確認してください。 2949ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」
かすれる	 インクカートリッジは推奨品(エプソン純正品)を使用することをお勧め
スジや線が入る	 ・ 古くなったインクカートリッジは使用しないことをお勧めします。
色合いがおかしい・色が薄い	∠3~47 ページ「インクカートリッジの交換」
印刷されない色がある	 プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 2940ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 上記の調整をしても改善されないときは、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。 29『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)ー「メンテナンス」ー「印刷のずれ(ギャップ)調整」
印刷にムラがある	 写真などは、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。
モザイクがかかったように印刷される	 エプソン製専用紙には表裏があります。印刷した面がおもて面か確認してください。 △ア12ページ「使用できる用紙」 – 「印刷できる面」
	 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバム・クリアファイル・ガラ ス付き額縁などに入れて保存・展示してください。 印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、 ドライヤーを使ったりしないでください。
インクが出ない(白紙で印刷される)	 セットした用紙の種類と、印刷設定の[用紙種類]を合わせてください。 △ア15ページ「[用紙種類]の設定」
	 印刷品質の高いモード([きれい])での印刷をお試しください。普通紙で 印刷するときに、[印刷品質]を[標準品質]に設定すると、スジが見える ことがあります。
約 2.5cm 間隔でスジが入る 文字や罫線がガタガタになる	 プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 2740ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 上記の調整をしても改善されないときは、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。 27「ユーザーズガイド』(電子マニュアル)ー「メンテナンス」ー「印刷のずれ(ギャップ)調整」
コピーでムラ・シミ・斑点が出る 裏写りする	 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 通紙(給排紙)をして、製品内部をクリーニングしてください。 2755ページ「用紙が汚れる」-「内部のクリーニング方法」 ADFのローラーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 2762ページ「オートドキュメントフィーダーの清掃」 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けないでください。 原稿の紙が薄いときは、原稿台からコピーしてください。また、裏側に黒い紙や下敷きを重ねてコピーしてください。

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が汚れる	 ・コピー濃度を下げてください。 ②22ページ「コピーをする」 ・原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。 汚れているときは、柔らかい布でふき取ってください。 ・通紙(給排紙)をして、製品内部をクリーニングしてください。 く内部のクリーニング方法> 用紙カセットにA4サイズの普通紙(コピー用紙など)をセットして、原稿をセットせずにコピーを実行してください。用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、繰り返してください。 コピーの手順は、以下のページをご覧ください。 ごピーの手順は、以下のページをご覧ください。 (次22ページ「コピーをする」 製品内部は布やティッシュペーパーなどでふかないでください。 (ボマブリントヘッドが目詰まりすることがあります。 ・両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。 ハガキに印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。 ・本製品で印刷できる用紙」 ・用紙は正しい方向にセットしてください。 (ター12ページ「印刷用紙のセット」) ・印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバム・クリアファイル・ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。 ・両面に単ったりしないでください。 ・両面コピーをするときは、「両面・乾燥時間」を設定してください。 (ター1ページ「両面・乾燥時間」
ハガキに縦長の写真を印刷すると、 宛名面と上下が逆になってしまう	ハガキのセット向きを上下逆にしてください。 縦長写真のデータは、撮影時の条件(カメラの向きや仕様)によって、写真 の上下(天地)が異なります。
印刷がずれる・はみ出す	 エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 プ 16 ページ「印刷用紙のセット」 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。コピー時はゴミや汚れの範囲までコピーされ、印刷位置が大きくずれることがあります。 原稿を正しくセットしてください。 <u>プ</u> 20 ページ「原稿のセット」 セットした用紙のサイズと、印刷設定の[用紙サイズ]を合わせてください。 <u>プ</u> 24 ページ「用紙サイズ」
画像が縮小される	柔らかい布でガラス面をふいてください。

ファクス

症状・トラブル状態	対処方法
ファクスの送信も受信もできない 外付電話機で通話ができない	 「ファクス機能診断」をして、シートに記載されている方法で対処してください。 △38ページ「ファクス機能診断」 対応している電話回線に接続してください。 △3763ページ「ファクス部基本仕様」-「対応回線」 電話回線に正しく接続されているかを確認してください。 △37『準備ガイド』-「電話回線と接続」 外付電話機の受話器を上げて「ツー」と音が聞こえるか確認してください。 電話とファクスを1つの電話番号で使っている場合は、電話回線に接続した本製品のEXT. ポートに外付電話機を接続してください。 外付電話機を接続しているときは、受話器が上がっていないか(話し中になっていないか)確認してください。 「通信エラー」と表示されたら、回線状況が不安定になっている可能性があります。繰り返しまたは頻繁に発生するときは、エプソンインフォメーショ
	ンセンターへお問い合わせください。 ∠〒68 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」 • 通信開始速度を 14,400bps にしてください。 ∠〒42 ページ「回線設定」
ファクスを送信できない	 「ファクス機能診断」をして、シートに記載されている方法で対処してください。 2938ページ「ファクス機能診断」 ご使用の回線と[回線種別]の設定を合わせてください。 26ページ「回線種別」の設定を合わせてください。 「ダイヤルトーンがありません。」と表示されたら、ファクス回線設定の「ダイヤルトーン検出」を[しない]に設定してください。 2942ページ「回線設定」 ADSL 回線では、スプリッターなどの装置を外してモジュラージャックに本製品を直接接続してファクスを送信してみてください。正常に送信できれば、本製品には問題はありません。インターネットサービスプロバイダーや IP 電話プロバイダーへお問い合わせください。 自局番号が登録されているか確認してください。送信先の設定によっては、自局番号が登録されていないと受け付けてくれないことがあります。 27ページ「自局設定」 番号非通知設定になっていないか確認してください。送信先の設定によっては、番号非通知設定になっていないか確認してください。 目付と時刻が設定されているか確認してください。 目付と時刻が設定されているか確認してください。 同付と時刻が設定されているか確認してください。 「向答がありません。」と表示されたら、以下を確認してください。 「応答がありません。」と表示されたら、以下を確認してください。 「応答がありません。」と表示されたら、以下を確認してください。

症状・トラブル状態	対処方法
ファクフを巫信できたい	 ファクスの自動受信をオンにしてください。外付電話機が接続されていないときに自動受信をオフにするとファクスを受信できません。 234ページ「自動受信」
	 ボイスワープなどの電話転送サービスからの転送ファクスは受信できません。電話転送サービスの設定の詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
	 呼び出し回数を多くし過ぎると、送信側のファクス設定によって受信できないことがあります。 ∠ 26 ページ「呼び出し回数」
	 ● 受信設定の [ファクス出力設定] を [印刷] に設定してください。 △3~42 ページ 「受信設定」
	 システムエラーなど本製品の電源をオフにする必要のあるエラーや、本製品のメモリーがいっぱいになったときは、ファクスを受信できません(このとき本製品では呼び出し音が鳴り続けます)。本製品にエラーが発生しているときは、エラーを解除してください。
	• PBX 環境(企業などの内線電話)で、ファクス受信できない場合は、呼び 出し回数を 1 回にしてみてください。
	• 原稿台と ADF に付いているゴミや汚れを取り除いてください。
ファクスをきれいに送信できない	 ・ 文字と写真が混在した原稿では、[きれい]を選択することをお勧めします。 <i>△</i>ア42ページ「送信設定」
	 ・送信ファクスの濃度を調整してみてください。 ∠す42ページ「送信設定」
ファクスをきれいに受信できない	 ● 回線設定の [エラー訂正 (ECM)] を [する] に設定してください。 ▲ 42 ページ「回線設定」
	 送信元に、ファクス原稿や読み取り部分に汚れがないか確認してください。 また、より画質の高いモードで送信し直すように依頼してみてください。
	 ● 受信したファクスを印刷し直してみてください。 ▲ 38 ページ「レポート印刷」
本製品が先に応答してしまうため、 音声通話ができない	 ・留守番電話機を接続しているときは、留守番電話機と本製品の呼び出し回数の設定を確認してください。 本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品が応答してファクス受信が始まるため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。 ∠テ26ページ「呼び出し回数」

2	$\mathbf{\Delta}$	
C	0)	Ш

症状・トラブル状態	対処方法
	 本製品にエラーが発生しているときは、画面の指示に従ってエラーを解除してください。
ヘッドクリーニングが動作しない	 十分なインク残量がないとヘッドクリーニングができません。新しいイン クカートリッジに交換してください。 49-47ページ「インクカートリッジの交換」
約 30 分以上連続して印刷をしている途 中、印刷速度が遅くなった	 ・印刷速度か極端に遅くなったときは、印刷を中断して電源の入った状態で 30分以上放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷でき るようになります。高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いて いるのが原因ですが、印刷速度が遅くなっても印刷は継続できます。
製品に触れた際に電気を感じる (漏洩電流)	 アース(接地)を取ることをお勧めします。
	 多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。
日付・時刻がずれている	 ● 日付・時刻を正しく設定してください。 ▲ 3 41 ページ「日付 / 時刻設定」

パソコン接続時

症状・トラブル状態	対処方法
パソコンから印刷できない	 『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。 『トラブル解決』ー「印刷のトラブル」ー「印刷できない」 『ネットワークガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。 『設定/印刷で困ったときは』ー「設定や印刷に関するトラブル」
印刷品質が悪い 印刷面がこすれる・汚れる 印刷位置がずれる・はみ出す	 ●『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。 △☞「トラブル解決」 – 「印刷のトラブル」 – 「印刷品質 / 結果が悪い」
パソコンからスキャンできない	 『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。 ④「トラブル解決」ー「スキャンのトラブル」ー「スキャンできない」
スキャン品質が悪い 意図した範囲・向きでスキャンできない	 ●『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。 △ア「トラブル解決」ー「スキャンのトラブル」ー「スキャン品質 / 結果が悪い」
パソコンからファクス送信できない	 ●『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。 △ア「トラブル解決」 – 「ファクスのトラブル」 – 「ファクスの送受信ができない」
ネットワーク設定できない	 ●『ネットワークガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。 ▲⑦「設定/印刷で困ったときは」 – 「設定や印刷に関するトラブル」

メッセージが表示されたら

本製品の画面に以下のメッセージが表示されたら、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。 電源を入れ直してください。 詳しくは、マニュアルをご覧ください。	電源を入れ直してください。 それでもエラーが解除されないときは、電源を切ってからスキャナーユニッ トを開け、内部に異物(輸送用の保護テープ・用紙など)が入っていないか 確認してください。
インク量が限界値以下のためカートリッ ジ交換が必要です。	本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前 に動作を停止するように設計されてます。新しいインクカートリッジに交換 してください。 ∠☞47 ページ「インクカートリッジの交換」
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動し ました。 以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ① パソコンとプリンターを USB 接続します(リカバリーモード中のアップ デート作業は、ネットワーク接続ではできません)。 ② エプソンのホームページから最新版のファームウェアをダウンロードして アップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

増設カセットユニット(オプション)の取り付け

6

7

オプションの増設力セットユニットの取り付け方法 を説明します。

<u>∧</u>注意

作業は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、 すべての配線を外したことを確認してから行ってくだ さい。コードが傷付くなどにより、感電・火災のおそ れがあります。



- 2 本体に取り付けているコードをすべて取り外 します。
- 3 増設力セットユニットを箱から取り出します。



増設カセットユニットの保護テープや保護材 をすべて取り外します。

5 本体と増設力セットユニットを図のように合わせます。



取り外したコードを再接続します。





以上で、作業は終了です。

輸送の準備

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、 以下の作業を確実に行ってください。

本体とオプションの増設力セットユニットは別々に 梱包してください。



【電源】ボタンを押して、電源を切ります。

プリントヘッドが右側のホームポジション(待機位 置)に移動し、固定されます。



!重要

- インクカートリッジとメンテナンスボックス は取り外さないでください。輸送時にインク が漏れるおそれがあります。また、プリント ヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれが あります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコン セントから抜くと、プリントヘッドがホーム ポジションに移動せず、固定できません。電 源を入れ直し、必ず【電源】ボタンを押して 電源を切ってください。
- 2

3

すべての給紙装置から用紙を取り除きます。

- │ 原稿カバーを開けて、原稿がないことを確認 │ します。
- 4 電源コードを本体から取り外します。

USB ケーブル・LAN ケーブル・モジュラーケーブ ルが接続されているときは、すべて取り外してくだ さい。



5 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包 箱に入れます。

!重要

保護材の取り付け時や輸送時は、本製品を傾け たり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状 態で取り扱ってください。

以上で、作業は終了です。



輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッド をクリーニングしてください。 ∠3⁻49ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

オートドキュメントフィーダー使用時のご注意

対応原稿サイズ

ADF にセットできる原稿は A4 サイズの普通紙です。

セットできない原稿

次のような原稿はセットしないでください。紙詰まりや印 刷汚れの原因になります。

- 折り目やしわのある原稿
- 破れている原稿
- 反っている原稿
- のり・ステープラー・クリップなどが付いた原稿
- 形が不規則な原稿・裁断角度が直角でない原稿
- 写真・シール・ラベルなどを貼った原稿
- ・ ルーズリーフなど多穴の原稿
- ・とじられている(製本されている)原稿
- 裏カーボンのある原稿
- 薄すぎる原稿・厚すぎる原稿
- 透明・半透明な原稿(OHP シートなど)
- 光沢のある原稿
- 劣化した原稿

原稿の取り扱い

- 複数枚の原稿をセットするときは、整えてからセットしてください。
- 原稿を継ぎ足してセットしないでください。

オートドキュメントフィーダーの清掃

ADF の汚れは、原稿の給紙不良や、コピー結果の汚れの 原因になります。 以下の手順で清掃を行ってください。

裏側

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、中性 洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸して、よく絞ってから 汚れをふき取り、その後乾いた布でふいてください。



内部のローラー

片手で ADF を押さえながら、もう片方の手でカバーをゆっくりと開けます。

ローラー部や通紙部分に、紙粉・ちり・ほこりなどが付着 していることがありますので、柔らかい布でからぶきして ください。



製品の仕様とご注意

製品仕様

■ 総合仕様

ノズル配列	黒インク:152ノズル×4列		
	カラー:152 ノズル×3色		
インク色	ブラック・イエロー・マゼンタ・シアン		
最高解像度	4800*×1200dpi		
最小ドットサイズ	3pl(ピコリットル)		
インターフェイス	Hi-Speed USB × 2(PC 接続用 · 外部記憶機器接 続用) · 10BASE-T · 100BASE-TX		
定格電圧	AC100~240V		
定格周波数	50 ~ 60Hz		
定格電流	0.7~0.35A		
消費電力	コピー時:約17W (ISO/IEC 24712印刷パターンコピー) スリープモード時:約2.4W 電源オフ時:約0.3W		
製品外形寸法	収納時:幅 460×奥行き 420×高さ 341		
(単位:mm)	使用時:幅 460 ×奥行き 654 ×高さ 383		
製品質量	約 13.8kg (インクカートリッジ・電源コードを含まず)		
動作時の環境	温度: 10 ~ 35°C 湿度: 20 ~ 80% (非結露) $_{\arrow generation (27)}^{\arrow generation (27)}_{\arrow $		
保管時の環境	温度:- 20~40℃ 湿度:5~85%(非結露)		
省資源機能	両面印刷機能・割り付け印刷機能・縮小印刷機能を 使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約するこ とができます。		

*: 最小 1/4800 インチのドット間隔で印刷。

■ スキャナー部基本仕様

読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り		
CIS		
主走査:1200dpi		
副走査:2400dpi		
10200 × 14040 Pixel		
A4・US レターサイズ 216 × 297mm		
RGB 各色 16bit 入力		
1 bit · 8bit 出力		

■オートドキュメントフィーダー部基本仕様

用紙セット方向	原稿面上向き
最大原稿サイズ	A4
セット可能用紙種類	普通紙(坪量 64 ~ 95g/m ²)
最大セット可能枚数	30 枚または 3mm

■ ファクス部基本仕様

型式	送受信兼用デスクトップ
	(スーパー G3・カラーファクス)
対応回線	 一般加入電話回線(PSTN) 以下のシステムや電話回線では正しく動作しないことがあります。 構内交換機(PBX*)を使用した内線電話システム ADSLや光ファイバーなどのIP電話回線 各種サービス(キャッチホンなど)の提供を受けている電話回線 デジタル回線(ISDN) 加入電話回線との間にターミナルアダプター・ VoIPアダプター・スプリッター・ADSLルーターなどの各種アダプターを接続しているときその他、電話回線の状況や地域などの条件によっては正しく動作しないことがあります。 また、ドアホン・ビジネスホンには対応していません。
通信速度	最大 33.6kbps
解像度	モノクロ ドラフト: 8pels/mm × 3.85lines/mm 標準: 8pels/mm × 7.7lines/mm きれい: 8pels/mm × 7.7lines/mm カラー 標準: 200 × 200 dpi きれい: 200 × 200 dpi
短縮ダイヤル登録 件数	最大 60 件
受信ファクス最大 保存ページ数	約 180 ページ (ITU-T 標準原稿をモノクロドラフトで受信した 場合)

*: 企業などの内線電話システムで使われている回線で、外線発信すると きに電話番号の最初に0などの外線発信番号を付けて通話する回線 のこと。

■外部記憶装置の最大容量

外部記憶装置	サポートする最大容量		
MO ドライブ*	MO 1.3GB		
HDD * ·	2TB		
USB フラッシュ	※ FAT·FAT32·exFAT フォーマット済みのもの。		
メモリー			

* : バスパワーでの電源供給は不可。必ず AC アダプターを接続して使用 すること。

ただし、以下の外部記憶装置は使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー(パスワード・暗号化)機能付きのもの
- USB ハブ機能が内蔵されているもの
- また、すべての動作を保証するものではありません。詳し
- くは、エプソンのホームページをご覧ください。
- < http://www.epson.jp >

■ 電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合 しています。

■有線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE802.3 i/u	
通信モード	10BASE-T*・100BASE-TX 自動または固定の選 択が可能	
コネクター形状	RJ-45	
ポート規制	Auto-MDIX 対応	

*: 社団法人 VCCI 協会の技術基準への適合及び電磁障害リスク低減のため、カテゴリー 5e 以上の STP(シールドツイストペア)ケーブルを使用すること。

ご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品(添付のソフトウェア等も含みます)の不具 合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのこ とから生じた付随的な損害(本製品を使用するために要し た諸費用、および本製品を使用することにより得られたで あろう利益の損失等)は、補償致しかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正 常に機能することをご確認ください。また、外部記憶装置 内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップ してください。次のような場合、データが消失または破損 する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内で あっても、弊社はデータの消失または破損については、い かなる責も負いません。

外部記憶装置を譲渡・廃棄するときは

外部記憶装置を譲渡・廃棄する際は、市販のデータ消去用 ソフトウェアを使って、外部記憶装置内のデータを完全に 消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削 除したり、フォーマット(初期化)したりするだけでは、 市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があ ります。また、廃棄時には、外部記憶装置を物理的に破壊 することもお勧めします。

■液晶ディスプレイ

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在す る場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生 じることがありますが、故障ではありません。

■ 瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合 が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等 を使用されることをお勧めします。

(社団法人 電子情報技術産業協会(社団法人 日本電子工業 振興協会)のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対 策ガイドラインに基づく表示)

■ 電波障害自主規制

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、 家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置 がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、 受信障害を引き起こすことがあります。 マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

■本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、本製 品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、 日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。 また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品 を使用できないことがあります。このような国では、本製品 を運用した結果罰せられることがありますが、当社といた しましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関 わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度な どにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用 される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全 維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じ るなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で 当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品 は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療 機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途 への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本 製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断く ださい。

■本製品の譲渡・廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに 保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事 態を回避するために、保存した情報(電話番号、宛先名称 など)を消去してください。

消去方法の詳細は、以下のページをご覧ください。 ∠3 ページ「購入時の設定に戻す」

ー般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

■ 複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷 物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。 (関連法律) 刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条 など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券 を複製すること(見本印があっても不可)
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきな どを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複 製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、 回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、 切符など

■ 著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プロ グラムなどの著作権物は、個人(家庭内その他これに準ず る限られた範囲内)で使用するために複製する以外は著作 権者の承認が必要です。

商標・表記

■商標

- Mac OSは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国 Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標です。
- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコー エプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON Scanはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- EPSON ステータスモニターはセイコーエプソン株式会 社の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

■ 表記

- Microsoft[®] Windows[®] XP operating system 日本語版
- Microsoft[®] Windows[®] XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 operating system 日本語版
- Microsoft[®] Windows Server[®] 2008 operating system 日本語版
- Microsoft[®] Windows Server[®] 2008 R2 operating system 日本語版

本書中では、上記の OS(オペレーティングシステム)をそ れぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」 「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」 「Windows Server 2008 R2」と表記しています。 また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- •本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気 付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を 負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートは、以下のページでご案内しています。 _3768ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアル(取扱説明書)の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。 < http://www.epson.jp/support/ > - [製品マニュアルダウンロード]

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間(3年、4年、 5年)、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応 スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単 エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、あわてずに、まず以下のトラブル対処方法をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。 ∠☞50ページ「困ったときは」 ∠☞『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)-「トラブル解決」 ∠☞『ネットワークガイド』(電子マニュアル)-「設定 / 印刷で困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項 をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。 これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、 お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。 改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求め頂いた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター(68ページ「本製品に関するお問い合わせ先」をご覧くだ さい)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。 使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンター またはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

括海		107 255	修理代金	
	決	(現安) [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1]	保証期間内	修理代金
年間	出張保守	 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。 定期点検(別途料金)で、故障を未然に防ぐことができます。 	年間一定の保守料金	
体守契約	持込保守	 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 	年間一定0	D保守料金
スポ 出張	ット 修理	 お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。 	無償	出張料+技術料+部品代 修理完了後 そのつどお支払いください
持〕 送付	込 / 修理	故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付 いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料+技術料+部品代 修理完了品をお届けした ときにお支払いください
ド to サー	ア ドア ビス	 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。 	有償 (ドア to ドアサービス 料金のみ)	有償 (ドア to ドアサービス 料金+修理代)

*:消耗品(インクカートリッジ、トナー、用紙など)は保守対象外となります。

!重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが 発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有 償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

本製品に関するお問い合わせ先



<u>MEMO</u>

操作パネルのメニュー一覧

コピーモード	標準コピー設定	コピーメニュー	設定項目
	コピー枚数 コピー濃度	用紙とコピーの設定	両面 部単位でコピー レイアウト 倍率 用紙サイズ 用紙種類 印刷品質 原稿の向き 原稿とじ位置 印刷とじ位置
スキャンモード	スキャン機能	設定項目	スキャンメニュー
	スキャンして外部機器に保存 スキャンしてパソコンへ スキャンしてパソコンへ (PDF) スキャンしてパソコンへ(Eメール)	保存形式 原稿の両面設定 スキャン範囲 原稿タイプ 解像度 濃度 原稿の向き 原稿とじ位置	スキャン設定 プリンターのお手入れ
ファクスモード		ファクスメニュー	設定項目
		送信設定	→ 画質 濃度 両面設定
•		短縮ダイヤル登録	新規登録 編集
		グループダイヤル設定	
		時刻指定送信]
		順次同報送信] ┌───通信管理レポート
		ポーリング受信] 通信結果レポート 短縮ダイヤルリスト
		レポート印刷	グループダイヤルリスト 受信文書再印刷
		プリンターのお手入れ] プロトコルログ
セットアップモード	セットアップ機能	設定項目	
-----------	------------------------	---	
	インク残量の表示 プリンターのお手入れ	プリントヘッドのノズルチェック プリントヘッドのクリーニング プリントヘッドのギャップ調整	
	ブリンターの基本設定	 給紙装置の用紙サイズ設定 こすれ軽減 両面・乾燥時間 音の設定 日付 / 時刻設定 言語選択 /Language 用紙サイズのチェック 	
	ネットワーク設定	ネットワーク基本設定 ネットワーク接続診断 ネットワーク情報確認	
	ファイル共有設定	USB 接続優先 ネットワーク接続優先	
	ファクス設定	送信設定 受信設定 回線設定 ファクフ 機能診断	
	本体ステータスシートの印刷		
	設定をパスワードでロック	ー ロックする パスワードを変更する	
	購入時の設定に戻す -	 ファクス通信設定 ファクス登録データのクリア ネットワーク設定 ネットワークとファクス設定以外 すべての設定 	

索引

索引

● 製品各部の名称は		
∠Ҙ8ページ「各部の名称と働き」		
● 操作パネルの使い方や画面の見方は		
∠雺10ページ 「操作パネルの使い方」		

- ・用紙の種類・サイズは
 △ 12ページ「使用できる用紙」
- ・設定値(メニュー)は
 △〒70ページ「操作パネルのメニュー一覧」

アルファベット

Α	ADF8、	21
Е	EPSON クリスピア12、	15
U	USB	、9

五十音

あ	アフターサービス	66
い	インクカートリッジの型番裏	表紙
	インクカートリッジの交換	47
	インク残量の表示	40
	印刷とじ位置	24
お	オートドキュメントフィーダー8、21、	62
	オートフィット (コピー倍率)	24
	オプション(増設力セットユニット)8、	60
か	外部記憶装置8、	39
	紙詰まり	50
	画面のエラーメッセージ	59
	画面の見方	11
き	給紙装置の用紙サイズ設定41、	44
<	グループダイヤル設定	37
	グループダイヤル送信	31
け	原稿とじ位置24、	39
	原稿の向き21、24、	39
	言語選択	41
Ζ	購入時の設定に戻す	43
	コピー	22
ι	自動受信	34
	修理	66
	手動受信	34
	順次同報送信	32
	初期設定(購入時の設定)に戻す	43
す	スキャンして外部機器に保存	39
	スキャンしてパソコンへ	39
	スキャンしてパソコンへ (E メール)	39
	スキャンしてパソコンへ (PDF)	39
せ	設定一覧 (メニュー一覧)	70
	セットアップ	40
F	増設力セットユニット (オプション)8、	60
た	短縮ダイヤル送信	31
	短縮ダイヤル登録	36
τ	電話番号登録	37

と	問い合わせ先	68
	トラブル対処	52
ね	ネットワーク設定	41
Ø	ノズルチェック	49
t	ハガキ	15
	ハガキ(ヤット方向)	18
	パスワード	43
λ.	, () () 「 ,	29
	ファクス機能診断	38
	ファクス給紙装置設定	ΔΔ
	ップノンスに成衣 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	22
	『中年位とうと	<u>л</u>
	プリントヘッドのギャップ調敕	
	フラフト****フトのキャブフ調査	20
~	$\Delta \leq 1/2$	70 70
1	・ クトクラーニング	43 25
IQ		10
*		42
Ø	日話より (ノリノトハットノスル)	49
+	メノナノノスホックス	40
も		22
ጜ		- 1
	用紙刀セット1・28、16、41、44、	51
	用紙サイス	44
	用紙サイスのチェック	41
	用紙 (使用できない用紙)	14
	用紙 (使用できる用紙)	12
	用紙([用紙種類]の設定)	15
b	リダイヤル	31
	両面コピー	23

症状別トラブル Q&A

お問い合わせが多い内容です。該当する症状があるときは、対処方法が記載されているページをご覧ください。

プリンター本体のトラブル





A お使いの接続方法に合わせて原因をご確認ください。

■ USB 接続
 必要なソフトウェアが正しくインストール・設定され
 ていない可能性があります。
 プ「ユーザーズガイド』(電子マニュアル) – 「トラ 」
 ブル解決」 – 「印刷のトラブル」 – 「印刷できない」

■ネットワーク接続

刷で困ったときは」「設定や印刷に関するトラブル」

上記を確認してもトラブルを解決できないときは、エプソンのホームページ「よくあるご質問(FAQ)」もご 確認ください。

< http://www.epson.jp/faq/ >

インクカートリッジのご案内

		型番		
画面の表示	色	M サイズ	Lサイズ	
		カートリッジ	カートリッジ	
[BK]	ブラック	ICBK90M	ICBK90L	
[C]	シアン	ICC90M	ICC90L	
[M]	マゼンタ	ICM90M	ICM90L	
[Y]	イエロー	ICY90M	ICY90L	

※ M サイズと L サイズは併用できます。

【インクカートリッジは純正品をお勧めします】

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用に なりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や 信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収



学校に持っていこう!



郵便局に持っていこう!

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全 と教育助成活動を推進しています。 便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。

他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回 収などのサービスがあります。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。 < http://www.epson.jp/recycle/ >

メンテナンスボックスの回収

使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。 回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。 < http://www.epson.jp/recycle/ >

